

要 望 書

私ども、「緑の社会資本」としての森林の適切な整備・保全を通じて、持続可能でより良い社会の実現を担う建設企業の集まりである一般社団法人全国森林土木建設業協会においては、令和七年度定時総会において次のとおり決議いたしました。

つきましては、これらの実現に向け特段のご配慮を賜りますよう、ここに強く要望いたします。

令和七年六月二十五日

一般社団法人 全国森林土木建設業協会

会長 山藤 浩一

決 議

森林の有する多面的機能は国民生活に様々な恩恵をもたらすとともに、国際社会共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の達成にも大きく貢献している。そのような中で、気候変動の影響により激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震等の発生を見据えた森林の防災・保水機能の高度発揮による「緑の国土強靱化」や、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を確立し、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献していくことが喫緊の課題となっている。

このため、令和六年度補正予算及び令和七年度当初予算においても「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等に基づく治山対策及び路網整備を含めた森林整備対策をはじめ、森林吸収源対策、林業・木材産業の成長産業化等に係る基盤整備を含めた所要の予算を確保いただいたところである。

一方、森林の多面的機能の持続的な発揮を図っていくためには、これら所要の予算を増額、確保いただくとともに、これらの事業をそれぞれの地域で支える建設企業の安定的な経営や担い手の確保、これらを通じた森林土木工事の品質確保が図られる必要がある。については、これらの課題に対応するため、左記に示す事項の実現を強く要望する。

記

一 新たに策定された「第一次国土強靱化実施中期計画」を踏まえ、資材高騰や人件費増に対応した十分な予算を別枠で確実に確保した上で、森林整備・治山対策の計画的かつ着実な推進

二 大雨や短時間強雨の発生頻度の増加、大規模地震等による山地災害の激甚化・頻発化に対応した流域治水とも連携した治山対策、国産材の供給体制の強化等に対応した強靱で災害に強い幹線林道等路網の整備に必要な令和八年度当初予算等の安定的な確保

三 梅雨前線や台風に伴う豪雨災害等による山腹崩壊、土石流、流木等被害や林道被害等の早期復旧に必要な災害復旧関係予算の確保

四 急峻で狭隘、遠隔地といった厳しい施工条件下にある森林土木事業の実態や賃上げ・資機材価格の高騰など最新の実勢価格を反映した設計・積算、標準歩掛の適用が困難な場合の見積りによる積算、着工後の施工実態を踏まえた柔軟な設計変更等を通じた適正な利潤の確保に向けた取組の強化

五 働き方改革を進めるための施工条件等に応じた適正な工期の設定、早期発注や国庫債務負担行為、余裕期間制度の積極的な活用等による施工時期の平準化、プレキャスト製品の活用など省力化、安全施工につながる工法や中・小規模工事へのICT施工の導入促進等による生産性向上に向けた取組の強化

六 地方自治体等との災害防止協定の締結等による地域の安全・安心を支える建設企業としての山地防災パトロール等の地域貢献活動、技術者・技能者の知識・技術・技能の向上を促進するための継続教育に係る取組等の総合評価落札方式等入札における適切な評価

七 地域社会を担う多様な人材の確保及び地域における魅力ある就業機会の創出の一環として、森林土木事業における週休二日制や育児休暇の定着等による若者等の就業を促進する環境の整備

八 リスクアセスメントの普及定着等による転落・墜落等重大災害の撲滅、緊急時等の山間部での通信手段の確保、熱中症対策を含めた安全衛生経費や安全で円滑な工事施工のための仮設経費等の適切な積算、休日等が確保された適切な工期の設定等による建設工事従事者の安全及び健康の確保並びに福祉の向上

右決議する

令和七年六月二十五日

一般社団法人 全国森林土木建設業協会